

■ 校長より ■

新潟県立正徳館（しょうとくかん）高等学校のホームページを御覧いただき、ありがとうございます。

本校は、平成17年に県立与板高等学校と県立寺泊高等学校が統合され設立されました。令和6年度には創立20年目を迎えた全校3学級の全日制普通科高校です。

正徳館高等学校は長岡市与板町にあります。与板は江戸末期の名僧良寛が足繁く訪れ、信濃川水運の核として栄えた城下町です。

本校では、生徒の5年後、10年後を見据え、学校設定教科「キャリアガイダンス」を実施するなど、キャリア教育を体系的に行っています。また、地域の御協力をいただき、2年生全員でインターンシップを実施するなど、地域と連携したキャリア教育をとおして、豊かな人間性や社会性を育てています。

生徒一人一人を大切に作る取組により、生徒は充実した学校生活を送っています。

本校に入学を希望される皆さん、ゆかりのある方々、関心のある方々が本校について理解を深めるために、このホームページを活用していただければ幸いです。

新潟県立正徳館高等学校長

■ 教育理念 ■

- 1 「基礎学力の定着と向上を通して、学ぶ意義を再発見させる」
1・2年生は、英語、国語、数学において、少人数でじっくりと学べる授業を行っています。2年生からは、大学進学、専門学校進学、就職等、一人一人の進路希望に応じた科目選択を行っています。また、各教科においてICT等を活用しながら、基礎学力の確実な定着と生涯学習の基盤構築を図っています。
- 2 「規律ある生活態度と責任ある行動姿勢を育成する」
「挨拶」、「服装」、「時間」など、社会生活を送る上で大切なことについて改めて考えさせながら、規律ある生活態度と責任ある行動姿勢を育成しています。
- 3 「豊かな人間性を育て、自らの進路を主体的に考えさせる」
人間性は、その人の作法（マナー）や言葉遣いに表れます。そして、作法や言葉遣いは、人との触れ合いの中で磨かれます。本校では、「地域貢献活動」、「保育・福祉実習」、「インターンシップ」など多くの体験学習を取り入れ、一人一人が自身の進路を主体的に選択するための機会として生かしています。

■ 校名の由来 ■

最後の与板藩主「井伊直安」公は、戊辰戦争で荒廃した与板の復興を願い藩校「正徳館」を再興しました。この「正徳館」は、身分を問わず学問を志す者なら誰でも入学を許し、広く学問の門戸を開き、幕末の風雲を生き抜く有為な人材の育成に努めました。これが校名の由来です。